

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 30日

事業所名 放課後等デイサービス ことのは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	・透明マスクなど、聴覚障害におけるバリアフリー化には配慮している	・必要な事例なし ・当事業所において該当する利用者はいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・日常からPDCAサイクルを意識している ・子ども(利用者)への支援を行ったり、月に1度の行事を行ったりする際は、しっかり計画を立て必ず振り返り(反省会)を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・保護者のからいただいた意見を真摯に受け止め、改善に向け職員で話し合う場を持つ
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・月に一度、社内研修が行われている。オンライン研修を受ける時間もあり、学びを深めスキルアップを図っている	・外部の研修にも参加していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・個別支援計画に沿って活動内容を検討する上で自発管へ相談している	・他職員との情報交換をもう少ししていきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・前年度の資料を基に、児童がより楽しく参加できる工夫を行っている(行事活動) ・行事活動は固定せず、季節の活動や利用者の年齢などに配慮して活動を検討している	・心掛けているが必要に応じ、一日の活動の一部を固定することもある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		・それぞれの学習時間や児童の苦手に合わせ、状況に応じて力を入れていく課題を設定している	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	・基本的には一対一の個別活動が多い。昼休みや月に一度の行事の際に集団活動を取り入れ、他児と意見交換をしながらコミュニケーションを図っている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・行事を行う際は、打ち合わせを行い、全職員が支援内容、それぞれの役割を理解した上で活動を行っている	・職員間で、児童の学習状況について、適宜打ち合わせや情報共有を行っているが、細かい支援内容をもう少し積極的に確認していきたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	・振り返りは必ずしも毎日行っていない。気付いた点があれば相談したり会議などで伝えている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・学習内容、次回の目標など記録を取るようになっている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	・必要に応じ、利用者の通う学校を訪問したり、連絡帳を通して学校の先生方と連絡を取り合い、情報交換、情報共有をしている	・送迎がないためあまり関わっていない
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	・服薬のある利用者において、保護者を通して服薬や服薬時刻などの確認を行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		・これまで障害福祉サービス事業所などへ移行した事例がないため
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		・現在社内研修やeラーニング学習のみを行っているが、今後は様々な研修へ参加していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		・コロナウイルス流行のため、外部と接する機会を控えている。収束した際にはそういった機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・送迎時に、保護者へ子どもの様子や発達状況を伝えたり、保護者から学校や家庭での様子を聞いたりし、今後の支援を検討している
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4			
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・保護者から日ごろ学習面で気になる点を相談された際に、その点に焦点を当て学習支援を行っている	・個人的にも対応できるよう経験を積みたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		・家族の会に参加している	・参加していきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・対応事例なし
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・お知らせを配布したり、施設入り口に張り出すなど掲示を行っている。送迎時に口頭で伝えることも行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・来所、退所の際に口頭または連絡帳に記載することで意思疎通を心掛けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	・定期的に社内研修を行っている。災害時の対応について、保護者には手紙を配布している	・保護者に周知しているか把握していない ・十分な策定や周知は行っていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	・年2回以上避難訓練を実施し、災害時を想定した備えをしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		・研修未参加
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・医師とのやり取りはないが保護者との細かい連絡は行っている ・行事の際などで提供する食事では、アレルギーフリーの物を準備して対応している ・契約時に保護者から食物アレルギーなど詳細について聞	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1			